



兵庫県立但馬やまびこの郷

Web版／令和2年2月

# 虹のかけ橋

<http://www.t-yamabiko.asago.hyogo.jp/>

## グループ・アプローチを取り入れた「居場所づくり」「絆づくり」

但馬やまびこの郷では、平成29年度より、新たな不登校を出さない「不登校の未然防止」についての研究に取り組み、その概要について機会を捉えて発信してきました。

今号では、全ての児童生徒が「学校に行きたい」「学校が楽しい」と感じるための「居場所づくり」と「絆づくり」について、学校での取組や先生方の感想を紹介します。



グループ・アプローチ…参加するメンバーの教育・成長をめざした、グループ、集団での生活体験のこと

各種グループ・アプローチのうち、構成的グループ・エンカウンター、ソーシャル・スキル・トレーニングなどは、以前から学校教育にも多く取り入れられてきました。各学校においても、グループ・アプローチを積極的に取り入れながら、児童生徒の「居場所づくり」「絆づくり」が図られています。

### ① アドジャンジャンケン

「アドジャンジャンケン」とは、「アドジャン」というかけ声で、全員が0から5までの数を指で示し、その数を合計して、ワークシート（図1）にある同じ番号（10以上は1の位の数）の質問に全員が答えるというゲームです。

A 中学校1年生は、2学期の始めに取り組みました。1学期の始めと比べ学級の雰囲気にも慣れたためか、全ての生徒が安心して活動に参加することができました。さらに、自分たちでジャンケンの振り付けを考えたり、質問項目を増やしたりするなど、主体的に活動する姿も見られたそうです。

アドジャンジャンケンシート	
1	あまり時間をかけて、答えすぎなくていいよ。
2	3秒以内で言えたら、すごい！
3	（0、9、0番）は自分たちで答えて書きましょう。
番 号	質 問（聞きたいこと）
1	好きな食べ物は何ですか？
2	外国旅行をするならどこに行きたいですか？
3	好きな動物は何ですか？
4	一番ほしいものは何ですか？
5	好きな色は何ですか？
6	休みに向をしていることが多いですか？
7	趣味（興味があること）は何ですか？
8	
9	
0	

図1 アドジャンジャンケンのワークシート



図1～図4は、後ろのページに掲載していますので、印刷してご活用下さい。

## ② やまびこおしゃべりすごろく

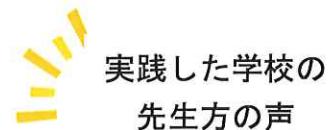
これまでに何度か紹介したことがある「やまびこおしゃべりすごろく（図2）」は、金山健一教授が考案された教材をもとに但馬やまびこの郷で作成しました。すごろくの質問に答えながら自己開示することによって、自己理解や他者理解に繋がり、好ましい人間関係を構築することができると考えられます。

また、マスの作り方を工夫すれば自己開示のレベルを調節することができるため、集団の実態に応じた形での活用が可能です。



図2 やまびこおしゃべりすごろく

B中学校1年生では、学年の始めに実施しました。活動中、全ての生徒が積極的に参加する姿が見られ、事後のアンケートにおいて、「楽しかった」「安心して参加できた」「協力してできた」「緊張がとけた」など、肯定的な回答が多く寄せられました。



実践した学校の  
先生方の声

お互いのことを改めて知る良い機会となった

ゲームとして自分のことを表現でき、心を開くきっかけとなった

一緒に生徒同士の緊張が解れた。今後も席替のタイミングなどで活用したい

トーキング系のエクササイズは、何度も同じエクササイズに取り組んでも、まったく同じ展開になることはありません。グループのメンバー構成が変われば、全然ちがってくるのです。また、同じメンバーであっても、関係性が浅い段階と深い段階では、活動の展開が変わってきます。

トーキング系エクササイズは、多様性を生みだし、多くのことを発見する気づきにあふれています。実践した学校での様子を聞いて、そのことが改めて確認されました。

今後も各学校において、グループアプローチを取り入れた「居場所づくり」「絆づくり」に取り組んでいただき、一人でも多くの児童生徒が笑顔で登校できればと願います。



# 令和元年度「不登校に関する研修会」から

不登校未然防止の視点からの開発的なアプローチ、発達障害のある児童生徒への理解、スクールカウンセラー等専門職との効果的な連携など、不登校児童生徒への支援にあたって学校や適応指導教室等に求められる課題は、多岐にわたっています。

そこで、但馬やまびこの郷では研修会（令和元年度は5回）を開き、こうした課題への対応について理解を深めるとともに、演習を通して実践的指導力の向上を図っています。

以下、今年度の「不登校に関する研修会」で実施した演習の一部を紹介します。

## 開発的カウンセリング＝全ての児童生徒が対象



開発的カウンセリング…児童生徒の心理的な発達を促進し、社会生活で必要なライフスキルを育て、困難な問題に対処する力やストレス耐性を高める活動のこと

開発的カウンセリングは活動の視点として、「人権教育」「ライフスキル教育」「キャリア教育」などが挙げられます。これらは、生涯にわたる発達課題達成の支援であり、全ての児童生徒が対象です。教科学習や特別活動、総合的な学習など、学級および学校全体の教育活動を通して実施します。

開発的カウンセリングには、構成的グループエンカウンター、ソーシャル・スキル・トレーニング、ピア・サポート・トレーニング、ブリーフセラピー等、様々な手法があります。

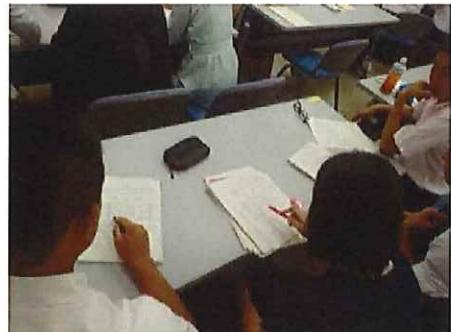
### 構成的グループエンカウンター

#### 「人生の値段」

- ＜ねらい＞・自分の価値観を明確にする
  - ・自分と他者との相違を認識する

#### ＜進め方＞

- ① ワークシートに人生を送る上で大切なものの、意義や価値があると思われるものが16項目書かれている。
- ② まず「私」の欄に重要度にしたがって値段を記入する。最高3,000万円、最低500万円で値段は6種類ある。3,000万円と500万円を最低1回は記入する。
- ③ 班の全員が記入し終えたら、次は班内で相談しながら一つずつの値段を決める。多数決や平均を取りったり、ジャンケンで決めたりはしない。



- ④ 次に、1億円しか買い物ができなければ何を買うかを考え、合計が1億円以内になるように「私」の欄に記入する。
- ⑤ そして、班内で相談し、合計が1億円以内になるように買い物をする（記入する）。
- ⑥ グループ内で感想を話し合う。

構成的グループエンカウンターを行うときには大切な流れがあります。それは、インストラクション（説明）→エクササイズ（演習）→シェアリング（分かち合い）という流れです。

シェアリングとは、エクササイズが終わった後、気付いたことや考えたことを本音で交流する活動です。エクササイズのねらいに沿った「話し合い・葛藤・自己評価・相互評価」の場面であり、エクササイズの振り返り活動です。

このシェアリングによって自分の考えを修正したり、明確化したり、新しい見方に気付いたり、相手に共感したりすることができます。エンカウンターがレクレーションで終わらないためにも、シェアリング（分かち合い）は大切な活動となります。

人生の値段				
	3,000万円 1,500万円	2,500万円 1,000万円	2,000万円 500万円	
項目	値段(私)	値段(班)	項目	値段(私)
1 健康		9 安全		
2 友情		10 美容		
3 旅費		11 駐車		
4 買物		12 保育		
5 電力		13 テレビ		
6 給食		14 音楽		
7 雑誌		15 地図		
8 財産		16 学習		

1 人生を送る上で大切であるとされているものが16項目書かれています。動作に夢について自分をつけましょう。  
自分は次の6項目です。同じ項目が何個あってもかまいませんが、3,000万円と500万円は同じ1回はまってください。

2 他の人生（自分+専門以外）による。消費税は省略しています。  
上の表の16項目がある。1箇内しか書かないといたら何を買いますか。  
【例】 家賃3,000万円+料金2,500万円+駐車2,000万円+財産2,000万円+学習500万円

3 同じように、班で1箇内分の買い物をしましょう。

4 感想を書いてください。

図3 「人生の値段」ワークシート

### ピア・サポート・トレーニング

#### 「間違い探し」

- <ねらい>・仲間とかかわる楽しさを知る。
- ・遊びを通してコミュニケーションスキルを高める。

#### 〈進め方〉

- ① 作戦タイム。前半に見に行くか、後半に見に行くか、見てきた絵を紙に書くのか、役割を分担する。
- ② 1枚目のイラストをホワイトボードに貼り、各グループから1名ずつ見に行って覚えてもらう。
- ③ 覚えた絵を班に持ち帰り、白紙に書き込む。
- ④ イラストを貼り替え、別の方が絵を見に行って間違いを見つける。
- ⑤ 全体で答え合わせをする。
- ⑥ グループ内で感想を話し合う。



ピア・サポート・トレーニングの主な内容は、他者への関心、自己理解、共感スキル、コミュニケーションスキル、問題解決、対立解消などがあります。

「間違い探し」では、自分がどのようにふるまうのかをふりかえることで自己理解を深

めるとともに、相互理解をしながら共通の目的に向かって協力していくエクササイズです。学級開きなど、はじめて出会い、ともに活動することを通して関係が深まる過程を体験するのに適しているといえます。

## 「どんな行動をとるのが良いかな？」

- ＜ねらい＞・お互いを尊重する関係においては、全員が納得できる解決方法を考え出す必要があることに気づく。  
・問題解決へのステップを理解する。

### ＜進め方＞

- ① 場面の状況を把握する。
- ② この場面では何が問題なのか、ワークシートに記入する。
- ③ 解決方法を2つ以上考えてワークシートに記入する。個人で取り組んだ後、班で話し合い互いの解決方法を記入する。
- ④ その解決方法を実際に行ったとしたら、どのような結果が起こるかについて、班で話し合ってワークシートに記入する。
- ⑤ それぞれの方法を比べて、一番良い方法を班で選んでワークシートに記入する。
- ⑥ 演習の感想をワークシートに記入し、その後グループ内で感想を交流する。

<p>どんな行動をとるのが良いかな？</p> <p>【場面】 あさん、おさん、こさんの3人は遊具場に遊びに行き、楽しく過ごしていた。雨が降りそうになってしまったので帰ることにになった。そのためかさんび「ショットコロスターに来よう！」と言いました。おさんは「来る？」と言ったが、こさんは「来らない」と言った。</p> <p>問題を解決するための4つのステップ</p> <p>① 何か問題かをまずははっきり言う。 ② 解決方法を2つ以上思いつく。 ③ その解決方法を実際に試してみたとしたら、どんな結果がおこるか想想する。 ④ それらの方法を比べて一番良いものを選びます。</p> <p>ステップ① この場面で何が問題なのか書きましょう <input type="text"/></p> <p>ステップ② 解決方法を話し合って、思いつくだけ書きましょう <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/></p>	<p>ステップ③ 班で選んだ解決方法の「良いこと」と「良くないこと」を書きましょう</p> <table border="1"><thead><tr><th>良いのなう</th><th>良いにした</th><th>良くないにした</th></tr></thead><tbody><tr><td>あ</td><td></td><td></td></tr><tr><td>い</td><td></td><td></td></tr><tr><td>う</td><td></td><td></td></tr><tr><td>え</td><td></td><td></td></tr><tr><td>お</td><td></td><td></td></tr></tbody></table> <p>ステップ④ 良くない方法はどれですか？ 理由を書きましょう <input type="text"/></p> <p>*4つの項目を踏まえて書いたこと、考えたことなどを自由に書きましょう <input type="text"/> <input type="text"/></p>	良いのなう	良いにした	良くないにした	あ			い			う			え			お		
良いのなう	良いにした	良くないにした																	
あ																			
い																			
う																			
え																			
お																			

図4 「どんな行動をとるのが良いかな？」ワークシート

ピア・サポート・トレーニングで子どもたちに学ばせたいスキルの中心は、関係性を構築するためのコミュニケーションスキルです。一見遊びのように見えるエクササイズでも、それぞれ身につけるべきねらいがあります。教員がねらいを明確にした上で、子どもたちの新しい体験をシェアリングしながら、楽しく進めることが大切です。

兵庫県立但馬やまびこの郷機関紙「虹のかけ橋」Web版  
発行／兵庫県立但馬やまびこの郷

〒669-5135 兵庫県朝来市山東町森字向山 45-101

TEL(079) 676-4724 FAX 079-676-4721

URL <http://www.t-yamabiko.asago.hyogo.jp/>

令和2年2月

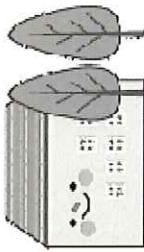


## アドジャンジャンケンシート

- 1 あまり時間をかけて、考えすぎなくてもいいよ。
- 2 3秒以内で言えたら、すごい！
- 3 (8, 9, 0番) は自分たちで考えて書きましょう。

番号	質問（聞きたいこと）
1	好きな食べ物は何ですか？
2	外国旅行をするならどこに行きたいですか？
3	好きな動物は何ですか？
4	一番ほしいものは何ですか？
5	好きな色は何ですか？
6	休みに何をしていることが多いですか？
7	趣味（興味があること）は何ですか？
8	
9	
0	

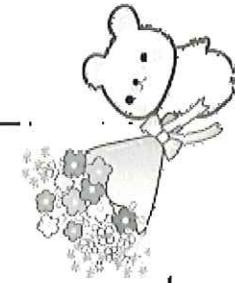
# やまびこ おしゃべりすごろく



## スタート

好きなテレビ番組	好きな色	もう一回サイコロをふる	季節	好きな動物	食べ物	おしゃべり	この一年間でハッピーだったこと
----------	------	-------------	----	-------	-----	-------	-----------------

小さい頃の夢	好きなキャラクターワード	びっくりしたいところ	行ってみたいたいところ	最後の人と交代	今の気持ち	今、ほしいもの	宝物
宝くじが3億円当たった！どうする？	最近、食べたおいしい物	ドラえもんに何を頼む？	海と山どちらが好き？	好きな音楽	肉と魚、どちらが好き？	好きなアニメ	好きなこと
好きな季節	怖いもの	全員握手	目の前に宇宙人が！どうする？	男子と女子、どちらにいたい？	5マス進む	一番の人と交代	好きなみ物
はまつていること	手						



## 人生の値段

1 人生を送る上で大切であると思われるものが16項目書かれています。条件に基づいて値段をつけましょう。

値段は次の6種類です。同じ値段を何回使ってもかまいませんが、3,000万円と500万円は最低1回は使ってください。

3,000万円	2,500万円	2,000万円
1,500万円	1,000万円	500万円

項目	値段(私)	値段(班)	項目	値段(私)	値段(班)
1 健康			9 愛情		
2 友情			10 長寿		
3 趣味			11 忍耐		
4 知性			12 信仰		
5 権力			13 学歴		
6 結婚			14 名声		
7 職業			15 家庭		
8 財産			16 奉仕		

2 私の人生(合計1億円以内にする。消費税は考えない。)

上の表の16項目の内、1億円しか買えないとしたら何を買いますか。

【例】 愛情3,000万円+結婚2,500万円+健康2,000万円+財産2,000万円+趣味500万円

3 同じように、班で1億円分の買い物をしましょう。

4 感想を書いてください。

どんな行動をとるのが良いかな？

【場面】

Aさん、Bさん、Cさんの3人は遊園地に遊びに行き、楽しく過ごしていた。雨が降りそうになってしまったので帰ることになったが、そのときAさんが「ジェットコースターに乗ろう！」と言い出した。Bさんは「乗る！」と言ったが、Cさんは「乗らない」と言った。

**問題を解決するための4つのステップ**

- ① 何が問題かを言葉ではっきり言う。
- ② 解決方法を2つ以上思いつく。
- ③ その解決方法を実際におこなったとしたら、どんな結果が起こるか予想する。
- ④ それぞれの方法を比べて一番良いものを実行する。

ステップ① この場面で何が問題なのか書きましょう

ステップ② 解決方法を話し合って、思いつくだけ書きましょう

ステップ③ 班で考えた解決方法の「良いこと」と「良くないこと」を書きましょう

	解決の方法	良いこと	良くないこと
あ			
い			
う			
え			
お			

ステップ④ 最も良い方法はどれですか？ 理由も書きましょう

--	--

★今回の演習を通して思ったこと、考えしたことなどを自由に書きましょう

---

---

---